

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	
2-6時間 教科書 p.8-10	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 自分らしい表現を 追求したり、発見 したりする	絵の具で遊んで 「自分いろいろ み」	「絵の具や用具の使い方 などを試したり、見つけ たりして、表したいこと を思いつく」ことを通し て、試したり、見つけた り、考えたりして、思い つく力を培う	まず、筆を使った技法以外の絵の具遊びから(モダ ンテクニック)、模様づくりや表現を楽しみ、「自分 いろいろみ」としてストックする。また、「はらぺこあ おむし」のようなコラージュによる主人公づくりや、 その主人公をもとにした簡単なお話しづくりの絵を表 現する。さらに発展として、簡単な絵本をつくっても よい。 〔共通事項〕との関連 絵の具遊びを通して、形や色の組み合わせをとら え、自分の表したいイメージをもつ。	関 ：いろいろな用具を使って、絵の具 の様々な表現効果や用具の可能性に関 心を持ち、表現を楽しむ。 発 ：様々な表現効果のおもしろさや美 しさを味わい、それをもとに発想を広 げる。 創 ：筆以外の用具の扱い方に慣れ親し みながら工夫する。 鑑 ：互いの表し方のよさやおもしろさ を味わう。	関 ：いろいろな用具を使って、絵の具の様々 な表現効果や用具の可能性に興味をも って、表現を楽しんでいる。 発 ：様々な表現効果のおもしろさや美 しさを味わうとともに、それをもとに 発想を広げている。 創 ：筆以外の用具の扱い方に慣れ親し みながら、表現に生かす工夫をしてい る。 鑑 ：互いの表し方のよさやおもしろさ を味わっている。	関 ：いろいろな用具を使って、絵の具の様々 な表現効果や用具の可能性に興味をも って、表現を積極的に楽しんでいる。 発 ：様々な表現効果のおもしろさや美 しさを深く味わうとともに、それをも とに豊かに発想を広げている。 創 ：筆以外の用具の扱い方に慣れ親し みながら、効果的に表現に生かす工 夫をしている。 鑑 ：互いの表し方のよさやおもしろ さを深く味わい、積極的に話し合う などしている。	教師 ：画用紙、色画用 紙、ぼかし網、トレイ、 スポンジローラーなど 児童 ：水彩用具一式、新 聞紙、歯ブラシ、スト ロー、ビー玉、スポン ジ、その他の身边材、接 着剤、タオル、はさみ など
2時間 教科書 p.11	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 造形表現活動の快 さや楽しさを経験 させ、相互理解を 図る	見つけたよ、この 色 すてきだね、そ の色	「色の仲間」づくりを たのしんだり、友だちの つくった色を味わったり することを通して、心 を開き、楽しく活動し、 友達と関わり合う力を培 う	絵の具を混ぜてつくる色（混色）を使って、小さな 画用紙に花や木・鳥や魚等のテーマで、色の仲間づく りをしながら活動である。比較的短い時間ででき る作品のため、つくりながら自分や友達の形や色のよ さや美しさを感じ取るなど、鑑賞と作品づくりを楽し みながら 行う活動である。 〔共通事項〕との関連 色の「仲間づくり」を楽しんだり、友達のつくった 色を味わったりしながら形や色の組み合わせをとら え、自分の表したいイメージをもつ。	関 ：絵の具を混ぜながら「色の仲間づ くり」に関心を持ち、楽しみながら表 現することを楽しむ。 発 ：「色の仲間づくり」の活動でつ くった色のよさや美しさから発想を広 げる。 創 ：混ぜる絵の具の色の組み合わせ や、混ぜる量の工夫をする。 鑑 ：自分や友達のつくった色を見つ けたり、味わったりする。	関 ：絵の具を混ぜながら「色の仲間づく り」に関心を持ち、楽しみながら表現 することを楽しんでいる。 発 ：「色の仲間づくり」の活動でつ くった色のよさや美しさから発想を広 げている。 創 ：混ぜる絵の具の色の組み合わせ や、混ぜる量の工夫をしている。 鑑 ：自分や友達のつくった色を見つ けたり、味わったりしている。	関 ：絵の具を混ぜながら「色の仲間づく り」に強い関心を持ち、楽しみながら 表現することを積極的に楽しんでいる。 発 ：「色の仲間づくり」の活動でつ くった色のよさや美しさや味わい、豊 かに発想を広げている。 創 ：混ぜる絵の具の色の組み合わせ や、混ぜる量などを自分のイメージ に合わせて効果的に生かす工夫を している。 鑑 ：自分や友達のつくった色を見つ けたり、深く味わったり、積極的に 話し合うなどしている。	教師 ：画用紙(八つ切りの 四分の一) 児童 ：水彩用具一式、タ オル
2時間 教科書 p.12-13	A表現(2) ア、イ、 ウ (立体) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	リズムにのって	「ねん土の特ちょうから 動物のいきいきとした動 きをくふうする」こと を通して、形や色、方法 や材料を工夫する力を培 う	ここでは、動物たちが踊り出したら楽しいだろう な、と想像したことを粘土で立体に表す内容である。 粘土の可塑性を十分に生かせるようにすることが大切 である。塊を大きくひねったり、つまみ出したりしな がら動きのあるポーズが変化する楽しさや粘土という 材料に夢中になって関わる感覚を十分に味わう。 〔共通事項〕との関連 粘土をひねったり、つまみ出したりした塊の感じを とらえ、自分の表したい動きのある立体のイメージを もつ。	関 ：粘土の可塑性を楽しみながら、立 体としてつくることに興味をもつ。 発 ：生き生きとしたダンスの動きや生 き物の楽しい表情などを、想像力を働 かせて表す。 創 ：用具の扱いに慣れ親しみながら工 夫する。 鑑 ：お互いの表し方の工夫やおもしろ さを味わう。	関 ：粘土の可塑性を楽しみながら、立体 としてつくることに興味をもっている。 発 ：生き生きとしたダンスの動きや生 き物の楽しい表情などを、想像力を働 かせて表している。 創 ：用具の扱いに慣れ親しみながら工 夫している。 鑑 ：お互いの表し方の工夫やおもしろ さを味わっている。	関 ：粘土の可塑性を十分楽しみながら、立 体としてつくることに強い興味をも っている。 発 ：生き生きとしたダンスの動きや生 き物の楽しい表情などを、想像力を豊 かに働かせて表している。 創 ：用具の扱いに慣れ親しみながら、自 分のイメージに合わせて効果的に工 夫している。 鑑 ：お互いの表し方の工夫やおもしろ さを進んで見つけたり、味わったり して、積極的に話し合っている。	教師 ：粘土1～2kg、 粘土板、粘土べら、針 金、竹ひご 児童 ：タオル(濡らして 絞っておく)
6時間 教科書 p.14-15	A表現(2) ア、イ、 ウ (工作) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	トントン つないで	「角材とうすい板をくぎ で打って、つなぎ方や動 き方をくふうする」こと を通して、形や色、方法 や材料を工夫する力を培 う	まず、上巻「のごぎりひいて、ザク、ザク、ザク」 で経験したように、のごぎりで角材をいろいろな形に 切る。切った木片と薄い板などを短くぎでつなぐこ とで生まれる動きから想像を広げ、動くとおもしろい ものをつくる。また、作品を見せ合ったり遊んだりす ることで、友達とのコミュニケーションの場をもつ。 〔共通事項〕との関連 木片と薄い板などをくぎでつないで組み合わせること から、それらがつくり出す形や動きの感じをとら え、自分なりのイメージをもつ。	関 ：木の感触を楽しみながら、用具を 使って角材を切り、薄い板などくぎ 打ちして組み合わせることに関 心をもつ。 発 ：切ってきた形と薄い板などくぎ 打ちしてつなぐことで生まれる動き から、つくりたいものの発想を広げ る。 創 ：用具の扱いに慣れ親しみながら、 さらに自分なりに工夫してつくる。 鑑 ：友達の作品を、関心をもって見 たり、いっしょに遊んだりする。	関 ：木の感触を楽しみながら、用具を使 って角材を切り、薄い板などくぎ打 ちして組み合わせることに興味をも っている。 発 ：切ってきた形と薄い板などくぎ 打ちしてつなぐことで生まれる動き から、つくりたいものの発想を広げ ている。 創 ：用具の扱いに慣れ親しみながら、 さらに自分なりに工夫してつくって いる。 鑑 ：友達の作品を、関心をもって見 たり、いっしょに遊んだりしている。	関 ：木の感触を楽しみながら、用具を使 って角材を切り、薄い板などくぎ打 ちして組み合わせることに強い関心 をもっている。 発 ：切ってきた形と薄い板などくぎ 打ちしてつなぐことで生まれる動き から、つくりたいものの発想を豊 かに広げている。 創 ：用具の扱いに慣れ親しみながら、 効果的に自分なりの工夫をしてつく っている。 鑑 ：友達の作品を、深い関心をも って見たり、進んでいっしょに遊 んだりしている。	教師 ：角材(たる木、小 割)、板材(杉板、ベニヤ 板、アイスの棒やへら)、 のごぎり、金づち、く ぎ、紙やすり、木工用接 着剤、きり、万力、小 刀、竹ひご、小枝 児童 ：木片、身边材料、 カラーペン

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	
4-6時間 教科書 p.16-17	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	木々を見つめて	「気に入った木を見つけ て、色づくりや筆使いな どをくふうする」ことを 通して、形や色、方法や 材料を工夫する力を培う	木々の形や色、触り心地などの特徴を感じて気に 入った木を見つけ、絵の具やクレヨンなどで形や色を 工夫しながら、表し方を試したり、見つけたりしてか くことを楽しむ。また、木の存在感や枝の形など、自 然のもつ生命感にも注目し、自分なりに感じた木をか く。 〔共通事項〕との関連 木を見たり、触ったりする活動を通して、形や色、 感触などの木の感じをとらえ、自分のイメージをも つ。	関 ：身近にある木々に興味をもち、表 したいことを見つけ、かくことを楽し む。 発 ：身近にある木々を見たり、触れ たりすることから思いを広げる。 創 ：絵の具などの色づくりや混色、筆 使いなどを様々に試しながら、表し方 を工夫する。 鑑 ：身近な木々を見たり、感じたりし ながら、互いの表し方や工夫した点、 作品のよさやおもしろさに気づく。	関 ：身近にある木々に興味をもち、表 したいことを見つけ、かくことを楽し んでいる。 発 ：身近にある木々を見たり、触れ たりすることから思いを広げようとして いる。 創 ：絵の具などの色づくりや混色、筆 使いなどを様々に試しながら、表し方 を工夫している。 鑑 ：身近な木々を見たり、感じたりし ながら、互いの表し方や工夫した点、 作品のよさやおもしろさに気づいて いる。	関 ：身近にある木々に強い興味をもち、表 したいことを進んで見つけ、かくことを積極 的に楽しんでいる。 発 ：身近にある木々を見たり、触れ たりすることから自分の思いを豊かに 広げようとしている。 創 ：絵の具など効果的な色づくりや混 色、筆使いなどを様々に試しながら、 意欲的に表し方を工夫している 鑑 ：身近な木々を見たり、感じたりし ながら、互いの表し方や工夫した点、 作品のよさやおもしろさに積極的 に気づいている。	教師 ：画用紙、色画用 紙、白ボール紙、黄ボ ール紙など 児童 ：水彩用具一式、ク レヨン、パス、カラー ペン
2時間 教科書 p.20	A表現(1) ア、イ、 ウ (造形遊び) B鑑賞(1) ア、イ	 自分らしい表現を 追求したり、発見 したりする	みんなで、どん どん むすん で、つないで	「身近な場所で、えだの つなぎ方を試したり、見 つけたりする」ことを通 して、試したり、見つけ たり、考えたりして、思 いつく力を培う	試したり見つけたりしながら、自分らしい造形的な 表現の発見と追求をする造形遊びの活動である。ここ では、場所を考えて木の枝をひもでつなぐ活動から発 想し、つなぎ方やつないだ形のおもしろさを確かめな がら表現する内容である。 〔共通事項〕との関連 枝と枝をつなぐ行為から、枝の形や色の組み合わせ などの感じをとらえ、自分のやりたい活動のイメージ をもつ。	関 ：木の枝などをひもでつなぐ活動 を楽しみながら表すことに興味をも つ。 発 ：材料の形や色、場所などを考 えて発想し、木の枝をひもでつない でいく。 創 ：枝と枝のつなぎ方や全体の様子 などを考えながら、工夫してつない でいく。 鑑 ：枝の形や組み合わせたときの感 じなど、自分や友達の活動のよさや おもしろさに気づき味わう。	関 ：木の枝などをひもでつなぐ活動 を楽しみながら表すことに興味をも っている。 発 ：材料の形や色、場所などを考 えて発想し、木の枝などをひもでつ ないでいる。 創 ：枝と枝のつなぎ方や全体の様子 などを考えながら、工夫してつない でいる。 鑑 ：枝の形や組み合わせたときの感 じなど、自分や友達の活動のよさや おもしろさに気づき味わっている。	関 ：木の枝などをひもでつなぐ活動 を楽しみながら表すことに強い興味 をもっている。 発 ：材料の形や色、場所などを考 えて豊かに発想し、木の枝などをひ もでつないで、自分なりの考え方を 追求している。 創 ：枝と枝のつなぎ方や全体の様子 などを考え、場所との関わりなども 意識しながら、工夫して効果的に つないでいる。 鑑 ：枝の形や組み合わせたときの 感じなど、友達の活動のよさやお もしろさに気づき、味わいなが ら、自分なりの表現をさらに高めて いこうとしている。	教師 ：木の枝、のこぎ り、ひも、ビニタイなど 児童 ：木の枝
2時間 教科書 p.21	B鑑賞(1) ア、イ	 造形表現活動の快 さや楽しさを経験 させ、相互理解を 図る	カードで味わ う、形・色	「形や色について、たが いの感じ方のちがいをた のしんだり、味わったり する」ことを通して、心 を開き、楽しく活動し、 友達と関わり合う力を培 う	「好きな色・おもしろい形」の組み合わせを考 えてかいたり貼ったりした「模様カード」を数枚つくる。 次に、個々のカードを見て感じたことを書いた「言葉 カード」をつくり、「言葉カード」と「模様カード」 の組み合わせを探る遊びを友達と楽しむ。遊びを通 して、自分や友達の感じ方の違いを知り、楽しんだり味 わったりする。「言葉カード」を先につくってもよ い。 〔共通事項〕との関連 形や色、組み合わせなどをもとに、自分や友達の見 方や感じ方の違いやよさをとらえる。	関 ：形や色の組み合わせに関心をも って表したり、カード遊びを楽しんだり する。 発 ：形や色の組み合わせ方を試しな がら、表したいイメージを見つ ける。 創 ：材料の特徴やよさを生かし、形 や色の組み合わせを工夫して表す。 鑑 ：自分の感じ方を言葉にしたり、友 達の見方、感じ方の違いやよさを味 わったりする。	関 ：形や色の組み合わせに関心をも って表し方を工夫したり、カード遊 びを楽しんでいる。 発 ：形や色の組み合わせ方を試し ながら、表したいイメージを見つ けている。 創 ：材料の特徴やよさを生かし、形 や色の組み合わせを工夫して表して いる。 鑑 ：自分の感じ方を言葉にしたり、友 達の見方、感じ方の違いやよさを 味わったりしている。	関 ：形や色の組み合わせに強い関心 をもって、表し方を工夫したり、友 達の感じ方を認めながらカード遊 びを進んで楽しんでいる。 発 ：形や色の新しい組み合わせ方 をいくつも試しながら、表したい イメージを意欲的に見つけてい る。 創 ：材料や用具の特徴やよさを生 かし、形や色のよりよい組み合わ せを工夫して効果的に表している。 鑑 ：自分の感じ方を積極的に言葉 にしたり、友達の見方、感じ方の 違いやよさを深く味わったりし ている。	教師 ：台紙用の工作用 紙、色紙、色画用紙、描 画材(クレヨン、カラー マーカー、色鉛筆など) 児童 ：はさみ、のり
4-6時間 教科書 p.22-23	A表現(2) ア、イ、 ウ (工作) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	パックパク	「かんたんなくみを使 った動くおもちゃをく ふうする」ことを通し て、形や色、方法や材料 を工夫する力を培う	輪切りにした牛乳パックにつくりたいものに合 った効果的な材料を選んだり、イメージに合った動きが生 まれるように紙の貼り方やつくり方を工夫したりし て、おもしろい動きのする楽しいおもちゃをつくる活 動である。 〔共通事項〕との関連 自分の感覚や活動を通して、形や色、動きの組み合 わせなどの感じをとらえ、これをもとに自分のイメ ージをもつ。	関 ：動く仕組みをもとに、つくりたい おもちゃをつくることに興味をも つ。 発 ：動く様子からイメージを広げ、 つくりたいものを思いついたり、つ くり方を考えたりする。 創 ：つくりたいものの動きに合 った材料を選んだり、手順などを 工夫したりしてつくる。 鑑 ：互いの作品を見て、工夫のよ さに気づき、共感する。	関 ：動く仕組みをもとに、つくりたい おもちゃをつくることに興味をも っている。 発 ：動く様子からイメージを広げ、 つくりたいものを思いついたり、つ くり方を考えたりしている。 創 ：つくりたいものの動きに合 った材料を選んだり、手順などを 工夫したりしてつくる。 鑑 ：互いの作品を見て、工夫のよ さに気づき、共感している。	関 ：動く仕組みをもとに、つくりたい おもちゃをつくることに強い関心 をもっている。 発 ：動く様子からイメージを豊かに 広げ、つくりたいものを思いつ いたり、つくり方を積極的に考 えたりしている。 創 ：つくりたいものの動きに合 った材料を効果的に選んだり、手 順などを工夫したりして意欲的に つくる。 鑑 ：進んで互いの作品を見て、工 夫のよさに気づき、深く共感して いる。	教師 ：割り箸、色造形 紙、色画用紙、モール、 カッターナイフ、カッ ターマット、クリップ ※とっておいた「自分い ろがみ」もイメージに合 わせて活用できるように 準備したい。 児童 ：牛乳パック、はさ み、接着剤、カラーペ ン、セロハンテープ

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	
4-6時間 教科書 p.24-25	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 自分らしい表現を 追求したり、発見 したりする	へんてこ山の物 語	「へんてこ山」という 言葉から想ぞうしたり、 考えたりして、表したい ことを思いつく」ことを 通して、試したり、見つ けたり、考えたりして、 思いつく力を培う	「こんな山があつたらおもしろいな」と、いろい ろな山の形を考え、その山をかきながらお話を発想して 絵に表す活動である。これまでに経験した表現方法を 生かしたり、新たな表現方法を見つけたりして表現す る。 〔共通事項〕との関連 「へんてこ山」という言葉から形や色を思い浮か べ、それをもとに自分の表したいもののイメージをも つ。	関 ：山の形を考えたり、お話を考えたり することに興味をもって、表現を楽し む。 発 ：自分で山の形を考え、それをもと に想像を広げて発想する。 創 ：表したいものの感じがよく表れる ように、経験や発見を生かして、絵の 具や他の描画材料の扱いを工夫する。 鑑 ：互いの表し方のよさやおもしろさ を味わう。	関 ：山の形を考えたりお話を考えたりする ことに興味をもって、表現を楽しんで いる。 発 ：自分で山の形を考え、それをもと に想像を広げて発想している。 創 ：表したいものの感じがよく表れるよ うに、経験や発見を生かして、絵の具 や他の描画材料の扱いを工夫している。 鑑 ：互いの表し方のよさやおもしろさ を味わっている。	関 ：山の形を考えたり、お話を考えたりする ことに強い興味をもって、積極的に表現 を楽しんでいる。 発 ：自分で奇想天外な山の形を考え、 それをもとに豊かに想像を広げて発想 している。 創 ：表したいものの感じがよく表れる ように、経験や発見を十分生かして、 絵の具や他の描画材料を効果的に扱 い、様々な工夫している。 鑑 ：互いの表し方のよさやおもしろさ を深く味わい、積極的に話し合うなど している。	教師 ：画用紙、色画用 紙、児童が必要とする描 画用具、アイデアカー ド、おもしろい形の山の 例 児童 ：水彩用具一式、ク レヨン、パスなどこれま でに使ったことのある描 画材
4-6時間 教科書 p.26-27	A表現(2) ア、イ、 ウ (工作) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	つくって、つ かって、たのし んで	「生活に役立つ入れ物や 箱のつくり方をくふうす る」ことを通して、形や 色、方法や材料を工夫す る力を培う	棚や箱といった収納機能をもつものやその構造を、 板や造形紙などの材料を使って制作し、実際に使うこ とを通して学び取る。また、つくりたい内容に合わせて 材料や用具を扱ったり、手順や方法を確かめたりし ながら表す内容である。 板材を使った例と造形紙を使った例があり、学校の 実情に合わせて選択できるようになっている。 〔共通事項〕との関連 板材や紙を材料として、その材料の形や色の組み合 わせを試しながら、そのよさをとらえ、それをもと に、自分でつくりたいもののイメージをもつ。	関 ：棚や入れ物など、構造的で用途の あるものをつくることに興味や意欲を もつ。 発 ：切った形などを組み合わせながら用途や 構造、全体の形を考えている。また、つくる 手順や方法など見直しをもって構想し ている。 創 ：つくりたいものの丈夫さや容量、 美しさに合った材料や用具の扱いを工 夫する。 鑑 ：各々の表し方の違いやよさ、工夫 などを感じ取り、伝え合う。	関 ：棚や入れ物など、構造的で用途のあるも のをつくることに興味や意欲をもつて いる。 発 ：切った形などを組み合わせながら用途や 構造、全体の形を考えている。また、つくる 手順や方法など見直しをもって構想し ている。 創 ：つくりたいものの丈夫さや容量、美 しさに合った材料や用具の扱いを工夫 している。 鑑 ：各々の表し方の違いやよさ、工夫な どを感じ取り、伝え合っている。	関 ：棚や入れ物など、構造的で用途のあるもの をつくることに強い興味や意欲をもち、 つくることを楽しんでいる。 発 ：切った形などの組み合わせを工夫し ながら、自分なりの用途や構造、全 体の形を考えて構想している。また計 画的につくる手順や方法などの見 直しをもっている。 創 ：つくりたいものの丈夫さや容量、 美しさに合った材料や用具を効果的 に扱うなど、よく工夫している。 鑑 ：各々の表し方の違いやよさ、工夫 などを積極的に感じ取り、進んで伝 え合っている。	教師 ：〈板の場合〉シナ ベニヤ板(厚さ3~4 mm)、補助的に角材や胴縁 材、枝など、ヒートン、 紙やすり、木工用接着剤 〈紙の場合〉 厚口造形紙、接着剤、ク リップ、カッターマット 児童 ：身辺材、水彩用具 一式、30cm定規、鉛筆、 カッターナイフ
2時間 教科書 p.28	A表現(1) ア、イ、 ウ (造形遊び) B鑑賞(1) ア、イ	 造形表現活動の快 さや楽しさを経験 させ、相互理解を 図る	いい場所見つけ て、囲んでみよ う	「友だちと力を合わせて、 身近な場所を囲む活動を たのしむ」ことを通し て、心を開き、楽しく活 動し、友達と関わり合う 力を培う	材料を生かし、場所と関わりながら表現していくこ とを通して、これまでの経験を総合的に生かしなが ら活動を展開していく。仕切ることから生まれた空間と 様々な材料との関わりから見慣れた場所に対する感じ 方が変わることを楽しみながら、友達と協力して活動 する。学校の諸事情で、屋外で活動するのが難しい場 合には、紙袋を使った室内での活動例も紹介した。 〔共通事項〕との関連 囲んだ場所の様子と材料を組み合わせでできたもの の形や色をもとに自分のイメージをもつ。	関 ：場所を見つけ、囲むことから思 いついた活動に取り組むことに興味をも つ。 発 ：場所を囲むことから発想を広げ、 材料を選びながらやりたいことを思 いつく。 創 ：材料の扱いを工夫しながら表す。 鑑 ：囲んだ場所のおもしろさを見つ けたり、自分や友達の活動のよさを感じ たりする。	関 ：場所を見つけ、囲むことから思 いついた活動に取り組むことに興味をも っている。 発 ：場所を囲むことから発想を広げ、 材料を選びながらやりたいことを思 いついている。 創 ：材料の扱いを工夫しながら表 している。 鑑 ：囲んだ場所のおもしろさを見 つけたり、自分や友達の活動のよさを 感じたりしている。	関 ：場所を見つけ、囲むことから思 いついた活動に取り組むことに強い興 味や関心をもっている。 発 ：場所を囲むことから豊かに発 想を広げ、材料を選びながらやりたい ことを次々に思いついている。 創 ：材料の扱いを工夫しながら効果 的に表している。 鑑 ：囲んだ場所のおもしろさを進 んで見つけたり、自分や友達の活動 のよさを深く感じたりしながら、 積極的に話し合っている。	教師 ：ポリエチレンシー ト、スズランテープ、養 生テープ、ビニル袋、油 性マーカー、(紙袋) 児童 ：はさみ、(セロハン テープ)
2-6時間 教科書 p.30-31	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵・工 作) B鑑賞(1) ア、イ	 造形表現活動の快 さや楽しさを経験 させ、相互理解を 図る	ハッピーカード	「はがきに絵をかいた り、カードをつくったり することをたのしむ」こ とを通して、心を開き、 楽しく活動し、友達や人 と関わり合う力を培う	自分の経験の中から、感動したこと、発見したこ と、想像をふくらませて楽しんだことなど、伝えたい ことを絵はがきやカードにして表す。造形活動を通し て、思いを伝えたり、互いの感じ方や表現の方法の違 いやよさを感じ合ったりすることの大切さを十分に味 わうようにする。 〔共通事項〕との関連 表したい対象や言葉のもつイメージを自分なりに形 や色で表したり、組み合わせたりしてつくる。	関 ：自分の体験や感動を絵に表し、伝 えることを楽しむ。 発 ：感動したこと、想像したことな ど、どの場面をどのように表すか、構 想を練る。 創 ：自分の表したいことがよく伝わる ように描画材料や表現方法を工夫し て表す。 鑑 ：実生活の中で思いを伝え合う喜 びを味わい、お互いの表現のよさを感じ 取る。	関 ：自分の体験や感動を絵に表し、伝 えることを楽しんでいる。 発 ：感動したこと、想像したことな ど、どの場面をどのように表すか、構 想を練っている。 創 ：自分の表したいことがよく伝わる ように描画材料や表現方法を工夫し て表している。 鑑 ：実生活の中で思いを伝え合う喜 びを味わい、お互いの表現のよさを 感じ取っている。	関 ：自分の体験や感動を絵に表し、進 んで伝えることを楽しんでいる。 発 ：感動したこと、想像したことな ど、どの場面をどのように表すか、幅 広く豊かに構想を練っている。 創 ：自分の表したいことがよく伝わる ように描画材料や表現方法をより効果 的に工夫して表している。 鑑 ：実生活の中で思いを伝え合う喜 びを深く味わい、お互いの表現のよ さを積極的に感じ取っている。	教師 ：はがき大(八つ切 り)の(色)画用紙、色紙、 色画用紙、カッターナイ フ、カッターマット 児童 ：水彩用具一式、カ ラーペン、色鉛筆などの 描画材、とっておい た「自分いろいろがみ」、布や 写真など自分の表現に必 要な材料

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	
2時間 教科書 p.32-33	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	形と色でショート チャレンジ 友だち、たくさ ん集まって	「たくさんの同じ形のな らべ方や色の使い方をく ふうする」ことを通し て、形や色、方法や材料 を工夫する力を培う	「自分マーク」など、もとのものの形を決め、それ らを何にどのような形や色として、たくさん詰め込ん だら楽しいかを想像しながらかく。あるいは、それら のおもしろい並べ方や組み合わせ方を工夫してかく。 形や色の並べ方や組み合わせ方、ものの数などの特徴 やおもしろさを表現していく短時間題材であ る。 〔共通事項〕との関連 ものの形や色は、その数量や大きさ、並べ方や組み 合わせ方などの違いによりイメージや感じが変わること のおもしろさを知る。	関：ものの形や色の数量や大きさ、並 べ方や組み合わせ方などを工夫した表 現に興味や関心をもつ。 発：形や色の数量や大きさ、並べ方や 組み合わせ方などのおもしろさを楽し む表現を思いつく。 創：形や色の数量や大きさ、並べ方や 組み合わせ方などを工夫して表現す る。 鑑：ものの形や色、数量や大きさ、並 べ方や組み合わせ方などの違いを表現 することの楽しさや方法に気づく。	関：ものの形や色の数量や大きさ、並べ方や組 み合わせ方などの表現に興味や関心をも っている。 発：形や色の数量や大きさ、並べ方や組 み合わせ方などのおもしろさを楽しむ表 現を思いついている。 創：形や色の数量や大きさ、並べ方や組 み合わせ方などを工夫して表現している。 鑑：ものの形や色、数量や大きさ、並べ 方や組み合わせ方などの違いを表現す ることの楽しさと方法に気づいている。	関：ものの形や色の数量や大きさ、並べ方や組 み合わせ方などの表現に高い興味や関心をも っている。 発：形や色の数量や大きさ、並べ方や組 み合わせ方などのおもしろさを楽しむ豊 かな表現を思いついている。 創：形や色の数量や大きさ、並べ方や組 み合わせ方などを工夫して意欲的に表現 している。 鑑：ものの形や色、数量や大きさ、並べ 方や組み合わせ方などの違いを表現す ることの楽しさと様々な方法によく気づ いている。	教師：画用紙(16切り) 児童：カラーフェルトペ ン
4-6時間 教科書 p.34-35	A表現(2) ア、イ、 ウ (立体) B鑑賞(1) ア、イ	 自分らしい表現を 追求したり、発見 したりする	願いの種から	「自分の願いやゆめから 考えたり、想ぞうしたり して、表したいものを思 いつく」ことを通して、 試したり、見つけたり、 考えたりして、思いつく 力を培う	自分の身近な願いに関わる形の種をつくり、そこか ら育つ茎や根、実や花をイメージしてつくる。ウレタ ンフォームや発泡スチロールを紙粘土でくるんだり、 身近な材料で茎や根、花や実の形や色を考えたりす る。願いや夢にまつわるものから発想を広げ、材料の 特徴を生かす表し方を試しながら工夫する。 〔共通事項〕との関連 表したいものの形や色、材料の特徴をもとに自分の イメージをもつ。	関：願いを伝える表し方に関心をも ち、楽しみながら取り組む。 発：いろいろな材料の特徴を味わい、 試しながら表したいことを見つけれ る。 創：材料のよさや組み合わせのおも しろさを生かし、表し方を工夫する。 鑑：自他の表し方の違いやよさに関 心をもち、話したり聞いたりする。	関：願いを伝える表し方に関心をも ち、楽しみながら取り組んでいる。 発：いろいろな材料の特徴を味わい、 試しながら表したいことを見つけれ ている。 創：材料のよさや組み合わせのおも しろさを生かし、表し方を工夫してい る。 鑑：自他の表し方の違いやよさに関 心をもち、話したり聞いたりしている。	関：願いを伝える表し方に高い関心をも ち、楽しみながら積極的に取り組んで いる。 発：いろいろな材料の特徴を味わい、 組み合わせのよさを試しながら意欲 的に表したいことを見つけている。 創：材料のよさや組み合わせのおも しろさを効果的に生かし、よりよい 表し方を工夫している。 鑑：自他の表し方の違いやよさに強 い関心をもち、感じたことを比べな がら積極的に話したり聞いたりする。	教師：軽量紙粘土、ウレ タンフォーム、発泡スチ ロール、木工用接着剤、 竹ひご、籐芯材、割り 箸、色造形紙、段ボール カッター 児童：水彩用具一式、タ オル、身辺材(ストロー、 小枝、布、ペットボト ル、綿、紙切れなど)、接 着剤
4-6時間 教科書 p.36-37	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 自分らしい表現を 追求したり、発見 したりする	ほると出てくる 不思議な花	「刷りやほりを試した り、見つけたりして、表 したいことを思いつく」 ことを通して、試した り、見つけたり、考えた りして、思いつく力を培 う	最初の2時間では、彫らない木版として刷りの楽し さを味わう活動を行い、インクの量や色の重ね方を工 夫しながら、3～5枚のベースとなる紙を刷る。次 時、刷った紙の形や色から想像を広げ、版木の裏面に 彫り、版をつくる内容である。これは高学年の彫り進 み木版へ発展する活動であり、ここでは2版を重ねて 刷ると「彫ったところに下地(紙)の色が出てくる」こ とを予想して、彫刻刀による彫りの違いを楽しむこと に重点を置きたい。 〔共通事項〕との関連 彫る形や刷る色の組み合わせから、それらがつくり 出す形や色の感じをとらえ、表したいイメージをも つ。	関：インクをつけて刷ったり、版木を彫 刻刀で彫ったりする楽しさを味わ う。 発：刷りの楽しさから想像を広げ、表 現するものや構図、色の組み合わせ などを構想する。 創：彫りや刷りなど、試しながら工 夫して表す。 鑑：自分や友達の表したかったこと や彫りや刷りのよさを味わう。	関：インクをつけて刷ったり、版木を彫 刻刀で彫ったりする楽しさを味わ っている。 発：刷りの楽しさから想像を広げ、表 現するものや構図、色の組み合わせ などを豊かに構想している。 創：彫りや刷りなど、いろいろ試 しながら工夫して表している。 鑑：自分や友達の表したかったこと や彫りや刷りのよさを味わって いる。	関：インクをつけて刷ったり、版木を彫 刻刀で彫ったりする楽しさを積極 的に味わっている。 発：刷りの楽しさから次々と想像 を広げ、表現するものや構図、色 の組み合わせなど豊かに構想して いる。 創：彫りや刷りなど、いろいろ試 しながら工夫を十分に加えて効果 的に表している。 鑑：自分や友達の表したかったこ とや彫りや刷りのよさを味わい、 積極的に話し合うなどしている。	教師：版画用シナベニ ヤ、版画用紙、版画イン ク、ローラー、練り板、 ばれん、すべり止めの ネット、ドライヤー 児童：彫刻刀、タオル、 新聞紙
4-6時間 教科書 p.38-39	A表現(2) ア、イ、 ウ (工作) B鑑賞(1) ア、イ	 造形表現活動の快 さや楽しさを経験 させ、相互理解を 図ったり、総合的 な造形表現活動を 経験させたりする	ゆるいろらんぷ	「身近な材料でランプを つくり、みんなで力を合 わせててんじする」こと を通して、心を開き、楽 しく活動し、友達と関 わり合う力を培う	ここでは、色セロハンや油性マーカーなどの光を通 す材料で、自分の気に入った模様をペットボトルなど の透明容器に施し、中から発した光に色をつけて楽し む内容である。また、つくったランプを複数集めるこ とで美しさが大きく変わることを経験し、それらの並 べ方や展示の方法を工夫したり、さらには暗くした部 屋の天井や壁などに反映された模様などを意図的につ くったりする。 〔共通事項〕との関連 ランプをつくって共同で飾ることを通して、光を透 す形や色の組み合わせなどをとらえ、自分なりのイ メージをもつ。	関：材料を透過する光の美しさやおも しろさでランプをつくることを楽し む。 発：材料の形や色の組み合わせを試 しながら、ランプの形や映る光の影 や色を考える。 創：材料の切り方や組み合わせ方、 光を透過する材料の形や色の使い 方を工夫する。 鑑：感じたことを話し合いながら、 形や色、表し方や材料による違い などをとらえて、よさやおもしろ さを感じ取る。	関：材料を透過する光の美しさやおも しろさでランプをつくることを楽し んでいる。 発：材料の形や色の組み合わせを試 しながら、ランプの形や映る光の影 や色を考えている。 創：材料の切り方や組み合わせ方、 光を透過する材料の形や色の使い 方を工夫している。 鑑：感じたことを話し合いながら、 形や色、表し方や材料による違い などをとらえて、よさやおもしろ さを感じ取っている。	関：材料を透過する光の美しさやおも しろさでランプをつくることを積極 的に楽しんでいる。 発：材料の形や色の組み合わせを試 しながら、ランプの形や映る光の影 や色を発想豊かに考えている。 創：材料の切り方や組み合わせ方、 光を透過する材料の形や色の効果 的な使い方を独自に工夫してい る。 鑑：感じたことを話し合いながら、 形や色、表し方や材料による違い などを積極的にとらえて、よさや おもしろさを十分に感じ取って いる。	教師：油性マーカー、色 セロハン、針金、アルミ ホイル、カッターナイ フ、リサイクルばさみ、 ペンチ、目打ち、ランプ (LEDライト) 児童：ペットボトル、は さみ、身辺材

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	
教科書 p.2-4	B鑑賞 (1)ア、イ		小さな 美じゅつ館		「小さな美術館」では、各学年の発達や課題に即したテーマを設定している。誌面にはテーマに関連する作家作品のほか、児童作品や活動風景なども掲載し、表現活動とのつながりにも配慮した。また、児童が興味をもって作品と出合えるように、教師や友達が語りかける形で鑑賞の視点を示している。さらに、どの学年においても1ページ大で扱う作品を取り上げ、教室での鑑賞資料として活用できるようにした。 ここでは「音を感じて」をテーマに、多様な音が感じられる作品を取り上げている。「音」という切り口から作品と対話する中で、形や色、リズムなどの造形的な特徴に気づかせていきたい。				
教科書 p.6-7	B鑑賞 (1)ア、イ		ゆめをかたちに		児童がその学年で出合う材料や表現方法を使っている作家の作品と児童へのメッセージである。 ここでは、版画家の名嘉睦穂さんに登場していただき、彫刻刀を使って版木を彫り、表すときの自らの思いと体全体で受け止める実感を語ってもらった。				
教科書 p.18-19	A表現(2) ア、イ、 ウ（工 作）		ひらめきコー ナー		立体的、工作的な構造や、動かしたり飾ったりする造形のもつ機能を楽しみながら、造形表現の経験を豊かにしようとする内容である。身近な紙や紙製品を表現材料とし簡単な操作を加えながら、形や色、大きさや重さ、厚みや硬さ、丈夫さやもろさ、弾力性や光の透過性、手触りや肌触りなど紙のいろいろな種類や性質、特性などを感じ取らせたい。また同時に手先、指先の働きや用具の扱いなど技能や技術に関わる能力も高めることが期待できる。 絵や模様などを加飾したり、構造やしくみの工夫、遊び方や飾り方に児童の“ひらめき”が生きたりするところも多い。造形への関心や興味を高め、自由で豊かな表現を数多く経験させたい。 ストローや紙皿、牛乳パックなどの本来の使用目的から離れ、表現材料として再利用することに関心を高め、収集や分解、保管の方法などにも目を向けさせたい。				色画用紙、色造形紙、竹ひご、ストロー、輪ゴム、糸、牛乳パック、段ボール、紙皿、楊枝、割り箸、はさみ、のりなど
教科書 p.40-41	B鑑賞 (1)ア、イ		みんなの ギャラリー		暮らしを豊かで楽しいものにするために造形が果たす役割は大きい。そのために、児童が関心をもてるような行事や祭り、イベントなどを紹介している。 ここでは、「伝統の技を学ぶ」「みんなでいっしょに」「教室を飛び出して」の三つのテーマでくくっている。				
教科書 p.42-43	A表現(2) ア、イ、 ウ（絵）		パレットコー ナー		各学年の発達の段階において必要な描画材料の基本的な使い方を示した。ここでは、個人持ちの水彩絵の具の様々な技法を掲載している。また、簡単な混色も示している。 パレットコーナーでは、全学年とも「造形コレクション」のコーナーを設け、児童が絵をかくときの発想・構想のヒントとして活用できるようにした。ここでは、「身近な自然」として様々な季節の樹木や草花を掲載している。				

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	
教科書 p.44-45	A表現(2) ア、イ、 ウ（工 作）		道具箱		<p>道具は、材料とともに造形活動になくてはならないものである。児童が自らの思いを実現させるために、道具の正しく合理的な使い方を知ることは大切なことである。そのための手引きとなるページである。</p> <p>ここでは、金づちとくぎの使い方、くぎの抜き方を中心に、カッターナイフとのかぎりの使い方を復習として掲載している。</p> <p>また、「ざいりょうはたからもの」では、材料を集めることから造形活動は始まるという視点から、主に中学年で扱う材料を掲載している。</p>				
裏表紙	B鑑賞 (1)ア、イ		つながる造形		<p>下巻では「つながる造形」をテーマとして、学年に応じて、児童の様々な活動の写真を掲載している。</p> <p>中学年では、学校から飛び出し、地域で活動することによって、いろいろな形や色と出会うことを掲載している。地域にある美術館や造形物（パブリックアート）、親子や地域の方とのふれあいなどを掲載している。</p>				